《東武博物館主催》
向島文化サロンご案内

吉原世界の構図
「べらぼう」への視座

本年NHKの大河ドラマの中心舞台「吉原」は、幕府公認の〈公娼〉の遊郭です。対して深川・品川は、〈私娼〉の遊里（岡場所）の代表格。岡場所から吉原の世界に向きあい、吉原の光と陰を照らし出し、吉原の昼の世界にも触れていきます。

講師 **渡辺憲司**（わたなべ・けんじ）

立教大学名誉教授
1944年函館市出身。立教大学文学部卒業後、横浜市立商業高校（定時制）・私立武蔵中学高校・梅光女学院大学・立教大学・立教新座中学高校・自由学園などをへて、現在立教大学名誉教授。著書に『近世大名文芸圏研究』『江戸遊女紀聞』『江戸遊里の記憶』『江戸の岡場所』など多数。

第1回

2025年 4月20日（日）午後2時～3時30分

吉原を見る岡場所からの視点

吉原・深川・品川の遊女であった女性達の会話を通して、その様相の違いを考えます。洒落本「古契三娼」をテキストに、吉原を見る岡場所の視点を考えます。18世紀後半の「べらぼう」の江戸の歴史背景にもふれます。

第2回

2025年 5月18日（日）午後2時～3時30分

吉原の持つ華やかな光と悲惨な陰

宝井其角の一句「闇の夜は吉原ばかり月夜かな」を取り上げ、吉原の持つ華やかな光と悲惨な陰の部分を考えます。さらに吉原の昼の世界を描きだした洒落本「錦の裏」を取り上げます。

「闇の夜は吉原ばかり月夜かな」宝井其角

【場　所】東武博物館ホール
東武スカイツリーライン 東向島駅下車
※詳しくは裏面をご覧ください。

【定　員】110名（応募多数の場合は抽選）

【参加費】無料

【応募条件】第1回・第2回の講演は2回1セットの応募
（個別の応募はできません）

【主　催】東武博物館

参加費無料

【応募方法】ハガキとインターネットによる2通りの応募が可能です。

ハガキの場合 ▶ 裏面に「講演会タイトル」を明記の上、お客様の氏名（フリガナ）、年齢、郵便番号、住所、電話番号を楷書でご記入いただき、ご郵送ください。

インターネットの場合 ▶ 東武友の会のホームページ（www.tobu-tomonokai.co.jp）にアクセスの上、「向島文化サロン」のバナーをクリック。
上記同様の必要事項をご入力の上、送信してください。

【宛　先】〒171-8512 東京都豊島区西池袋1-1-25 東武友の会「向島文化サロン」T係

応募締切 2025年3月19日（水）必着

●当選者には約1週間を目途に、当選ハガキ（入場券）を発送させていただきます。
※一度に複数名のご応募はできません。（複数名が記入されたハガキは無効となります。）1回の応募で1名様のみ有効となります。

［お問合せ］ 東武友の会 TEL.03-5951-5248 www.tobu-tomonokai.co.jp

※講演のテーマ内容は変更になる場合もございますので、ご了承ください。 ※ご応募いただきました方の個人情報は、当選ハガキ発送以外の目的で使用することはありません。